



◆問い合わせ先
福島県教育庁
県北教育事務所
社会教育課

☎024(521)7715

第20回全国生涯学習フェスティバル「県北域内開催記念事業」が10月12日、13日の2日間、福島県文化センターで開催されます。

「明日へつなぐ県北の生涯学習」をテーマに県北地方の素材・人材を生かした様々な学びの見本市で、「民話を未来に」と題した横山幸子さんの講演や、大正琴、吟と舞、高校生のハンドベルなど各地でサークル活動をしている団体の発表、子どもたちのケイナ演奏や地元団体の野菜、ジャム、パンの産品紹介販売など盛りだくさん。ぜひ参加してみてください。

県北域内開催記念事業の主な内容

【10月12日(日)】

- 記念講演 10:00~11:30 「おばあちゃんの民話茶屋」
～民話を未来に～ (梁川ざつと昔の会 横山幸子氏)
- 体験講座 13:30~15:00 親子食育セミナー、折り紙体験塾、ペーパークラフト、木工クラフト
- ステージ発表 13:00~15:15 大正琴、吟と舞、ハンドベルほか
- アトラクション 9:35~10:00 福島大学附属小学校 (合唱・オーケストラ)
- 11:30~12:00 川俣町ケーナ協会 (ケーナ演奏)

【10月13日(月)】

- 記念講演 13:30~15:00 「テレビ政治の功罪」
～国会中継からTVタックルまで～ (朝日新聞編集委員 星 浩氏)
- 講座 10:30~12:00 犬と人とのよい関係、カラーセラピーワールド、園芸セラピー、音楽セラピー
- ステージ発表 13:00~ 民謡・舞踊・フラダンス、合唱、レクダンス、アコースティックデュオ
- アトラクション 13:00~13:30 二本松市芸能協会 「二本松市伝統芸能」
- 15:00~15:30 霊山太鼓保存会 「霊山太鼓」

第20回全国生涯学習フェスティバル 県北域内開催記念事業開催のお知らせ



▲基本協定締結後に行った記者会見の様子 (左から佐藤県知事、山口社長、佐藤市長)

ソニーエナジー・デバイス(株)と 工場増設で協定締結

8月5日に福島市において、市とソニーエナジー・デバイス(株) (本社・郡山市 山口哲男社長) は、福島県知事の立ち会いのもと工場立地に関する基本協定書に調印しました。

計画では、ソニーエナジー・デバイス本宮事業所の北側に4階建ての新工場を建設、平成22年9月の操業を目指しており、新たに230人程度の雇用を見込んでいます。この工場増設にかかる投資額は約26.4億円で、ソニーエナジー・デバイスの主力製品であるリチウムイオン電池の増産体制を整備することを目的としています。

記者会見で佐藤市長は「操業開始に向け支援していく」と話しました。市では今後、周辺環境の整備、従業員駐車場の確保などの支援を行う予定です。

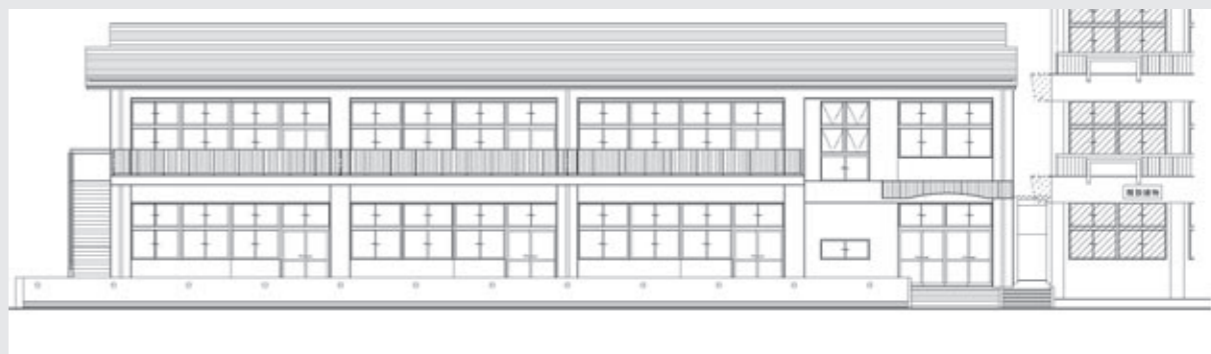
◆問い合わせ先
商工労政課 企業誘致係
(☎内線150)

児童の増加に対応するため 岩根小学校に6学級分を増築

岩根小学校は各学年1学級で推移してきましたが、近年、学区内の住宅団地への入居者が増え、昨年度から1年生が2学級編制となりました。今後も毎年1学級ずつ増え、全学年で2学級編制になることが見込まれます。このようなことから校舎の西側(現在の駐車場敷地)に鉄筋コンクリート造2階建ての校舎を今年度中に建設する準備を進めています。

- 増築延べ床面積 657㎡
- 総工事費 1億5,435万円

◆問い合わせ先
教育総務課 教育施設係 (☎内線244)



▲新校舎の南側立面図。1・2階に3学級ずつ増築します。右端は現在の校舎です。

シリーズ

「未来に輝くまちづくり」(2)

本宮市長 佐藤嘉重



日本の総人口は増加の一途をたどってきましたが、平成17年から減少に転じ、人口減少時代に突入したと言われています。合計特殊出生率を1.26人と仮定した場合、本年6月現在の1億2,700万人強の総人口が、平成67年には約9千万人まで減少するという国の研究機関による予測も出ています。

また、子どもの人口割合が減る「少子高齢化」の傾向が、全国的には一層進展しており、生産年齢人口の減少による産業基盤の弱体化や地域の活力低下が懸念されています。

一方、本市におきましては、わずかですが人口は増加しており、「少子高齢化」の傾向も、県内の平均値を下回っています。この良い状況を維持・向上

していくため、「子育て支援」と「健康づくり」を重点施策として位置づけ、継続的な取り組みを進めていきたいと考えています。

来年度には、県立本宮診療所の跡地に、子育て支援・健康づくり・多世代交流の拠点となる「複合施設」がオープンします。保健センターの機能を併せ持つこの施設は、本宮診療所廃止に伴う福島県からの支援交付金8億円により整備するものです。親子に遊びと憩いの場を提供するとともに、誰もが健康で世代を超えた出会いや交流ができるよう、気軽に利用いただける施設を目指しています。

これからも、市政運営の柱である「共に支えあうやさしいまちづくり」を基本に、「安心して子どもを生み育てられるまち」「市民が心も身も健康なまち」を目標として、人口増加や少子高齢化対策にもつながる施策を積極的に展開し、輝きを放ち続ける本宮市を創造してまいります。